

月刊 **名工研 技術情報**

MEIKOUKEN TECHNICAL INFORMATION

名古屋市工業研究所

平成23年度「名古屋市工業技術グランプリ」優秀事例の紹介

当所では、当地中小企業の技術振興及び経営の活性化を促進することを目的として、当地域発のすぐれた新技術・新製品を表彰する工業技術グランプリを実施しています。平成23年度においても、応募のあった13点の開発事例について審査を行い、以下のように受賞者を決定しました。

名古屋市長賞は、河村たかし市長より賞状が手渡されました。



(1)名古屋市長賞

食品業界向けマルチスピン型コーティング装置／㈱チップトン

堅いナッツでも割れやすいスナックでも、あらゆる食品対象物にコーティングできるようにドラムとディスクが独立して回転可能な機構をもつマルチスピン型コーティング装置。



市長賞製品

(2)名古屋市工業研究所長賞（2点）順不同

- ・サーバルキャット・プラス (ServalCAT PLUS) ／㈱アイキューブテクノロジー

画像処理とカメラを一体化させ、入力から判定までの全ての処理を1台で行えるインテリジェントカメラ。

- ・トビラフォン／トビラシステムズ㈱

日本初となる迷惑電話を自動で着信拒否する機械で、迷惑電話番号の情報を管理サーバーで一括して管理、ユーザー全体に共有する「クラウド型」の迷惑電話防止装置。

(3)財団法人名古屋産業振興公社理事長賞（2点）順不同

- ・鏡面ショットマシン「SMAP」／東洋研磨材工業㈱
- ・フレキシブル金型システム／㈹橋本鉄工所

(4)財団法人名古屋産業振興公社奨励賞（4点）順不同

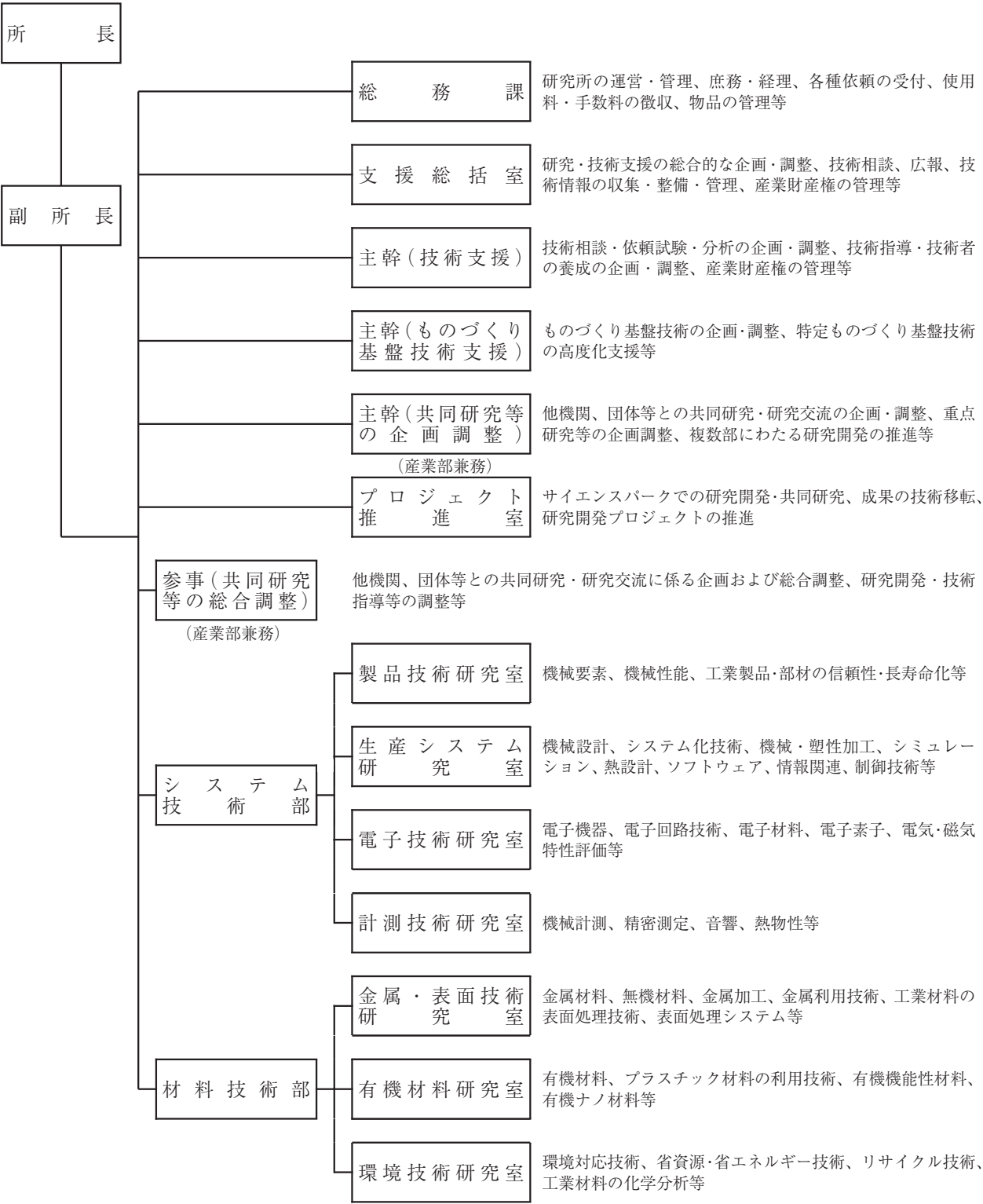
- ・紫外光照射によるギョウ虫卵検査機器／㈱エヌ・シー・ディ
- ・デジタル画像診断支援システム ImageSR PRO／㈱中部EEN
- ・構造物の亀裂発見工法／プラナスケミカル㈱
- ・高速高圧型マイクロリアクタ「ナノヴェイタ」／吉田機械興業㈱

お知らせ

名古屋市工業研究所の組織変更のお知らせ

名古屋市工業研究所は、平成24年4月に組織を再編し、新たな体制で中小企業の皆様の技術支援に取り組んでまいります。今後とも、皆様のご理解とご協力、一層のご利用をお願いいたします。

新組織と業務 (平成24年4月1現在)



お知らせ

平成23年度研究課題評価について

名古屋市工業研究所では、外部の有識者から構成される研究課題評価委員会を開催して研究課題の評価を行っています。平成23年7月29日（金）に平成22年度で終了した研究課題の事後評価^{*1}、及び、平成24年1月26日（木）に平成24年度から新たに始める研究課題の事前評価^{*2}と平成23年度に2年目にあたる研究課題の中間評価^{*3}を行いました。その結果を公表します。

1. 評価結果

評価指標	A	B	C	D
事後評価 ^{*1}	2	6	3	—
事前評価 ^{*2}	—	2	—	—
中間評価 ^{*3}	1	—	—	—

評価指標は以下の通り

【事後評価】

- A：目標を上回る十分な研究成果が得られた
 B：目標を達成し、見込み通りの研究成果が得られた。
 C：目標を概ね達成し、一定の成果が得られた。
 D：十分な研究成果が得られなかった。

【事前評価】

- A：計画通り実施、
 B：一部修正して実施、
 C：計画の変更を要する、
 D：計画を保留し内容を見直す

【中間評価】

- A：今後十分な研究成果が期待できる、
 B：今後一定の研究成果が期待できる、
 C：今後の見通しに問題があり、見直しが必要である
 D：研究の終了を検討すべきである

2. 評価委員の主な意見

研究テーマ	評価委員の主な意見
事前評価	
製品の評価技術に関する研究開発	製品の評価目的をはっきりするとよい。
有機無機複合材料の高性能化に関する研究	将来どのような製品あるいは依頼者をターゲットにするのか明確にするとさらに良い。

中間評価	
C A Eを活用した樹脂部品の設計技術の開発	実製品への応用を早く期待する。
事後評価	
めっき皮膜の熱加工性向上技術の開発	論理的に進め、解析しやすい添加剤、方法を開発してほしい。
機械診断を補助する簡易予知保全システムの開発	多種の機器で応用可能となることを期待する。
マグネシウム合金板材の高機能化と成形に関する研究	コスト面の検討とプレスコントロールの検討がほしい。
光触媒材料の開発および製品への応用	今後、可視光についても進められたら面白い。触媒機能をより有効にする組成・措置の検討も欲しい。
環境調和型材料の分析評価技術における課題解決および新規分析法の開発	分析法は大変重要なので、分析マニュアル等得られた成果を広く提供し、標準化あるいは工業研究所手法として確立できると良い。
光・電子・イオン機能を有する新規高分子材料の開発	メカニズムの解明と更なる技術開発が期待される。
最適設計のための微小部ひずみ測定技術の開発	興味深い研究である。配向制御など今後の発展を期待する。
紙材表面の超はっ水コーティングに関する研究	はっ水性の寿命の検討が必要と思われる。
線状領域撮像方式による画像生成と画像処理	応用法の開発が重要と思われる。
熱・温度に関する材料物性評価技術、熱設計技術の確立	実用上重要であり、また今後の課題も多い。
ランダム振動試験の条件設定に関する研究	実用上は重要と思われる。いかにして、一般性、汎用性のあるデータにするかについても検討できるとよい。

（支援総括室）TEL (052) 654-9812

お知らせ

人事異動

名古屋市の定期人事異動において、次のとおり異動がありました。

(平成24年 3 月31 日付)

* 退職

副所長	山内 康男
材料化学部長	安田 良
電子情報部長	栗生 雅人
総務課 事務係	佐藤 知代
機械金属部 機械システム研究室	長谷川照夫
機械金属部 生産加工研究室	清水 孝行
機械金属部 機械システム研究室(再任用)	藤井 優
材料化学部 資源循環研究室(再任用)	奥田 英史

(平成24年 4 月 1 日付)

1 昇任、転入、転出、配置換(役職以外の研究職を除く)

(新 任)	(旧 任)
副所長	梶田佐登志 守山区役所 区民生活部長
システム技術部長	増尾 嘉彦 電子情報部 情報・デバイス研究室長
材料技術部長	高橋 鉦次 機械金属部長
支援総括室長	浅尾 文博 技術支援室長
プロジェクト推進室長	伊藤 清治 材料化学部 プラスチック材料研究室長
システム技術部 製品技術研究室長	児島 澄人 機械金属部 機械システム研究室長
システム技術部 生産システム研究室長	月東 充 電子情報部 電子計測研究室長
システム技術部 電子技術研究室長	竹内 満 電子情報部 電子機器応用研究室長
システム技術部 計測技術研究室長	加藤 峰夫 機械金属部 生産加工研究室長
材料技術部 金属・表面技術研究室長	山田 隆志 機械金属部 金属技術研究室長
材料技術部 有機材料研究室長	村瀬 由明 材料化学部 資源循環研究室長
材料技術部 環境技術研究室長	小野さとみ 材料化学部 材料応用化学研究室長
総務課 事務係	宮本 昌子 市民経済局 地域振興部 住民課 町名表示係
支援総括室	石原 雅之 市民経済局 産業部 産業経済課 産業企画係

2 新規採用

プロジェクト推進室	石山 優奈
システム技術部 計測技術研究室	間瀬 剛
材料技術部 有機材料研究室	飯田あずさ

3 再任用

システム技術部 計測技術研究室	清水 孝行
-----------------	-------